

研究機関：広島大学

研究課題名	人工心臓を使用した心臓手術におけるマイクロバブル推定モデルの臨床評価
研究責任者名	広島大学病院診療支援部臨床工学部門 副部門長 宮本 聡史
研究期間	2022年2月17日(倫理委員会承認後)～2024年1月24日
対象者	2021年11月から2022年2月の間に、人工心臓を使用した心臓手術を受けた患者さん
意義・目的	人工心臓を使用した心臓手術では、脳神経障害の合併症が問題となる。要因としては、人工心臓を使用することでマイクロバブルが患者に送られ微小血管を閉塞させることで発症する。マイクロバブル発症には、4つの大きな要因があると言われておりそれらを用いて推定モデルを構築した。今回、構築したモデルで算出した値と臨床中のデータの信頼性を評価しマイクロバブルの発生、送出入を軽減できる条件を提案に繋げて行くことを目的に研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録および術中データ情報を調査して行います。診療録からは年齢、性別、身長、体重、BSAを使用し、術中データは人工心臓装置から吸引ポンプ流量、静脈リザーバーレベル、送血流量、血液粘度を使用します。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	当施設のみでの研究になります。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院診療支援部臨床工学部門 臨床工学技士 中尾 司
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5158 広島大学病院診療支援部臨床工学部門臨床工学技士 宮本 聡史